

教えて!ドクター

細川先生

Q&A



手術部長(兼)  
耳鼻咽喉科部長  
細川 晃

## 耳鳴について

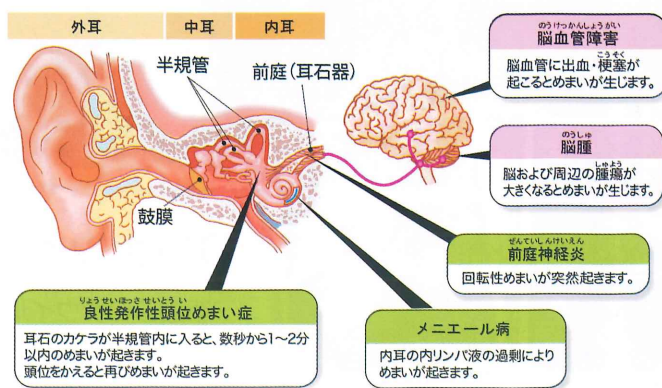
### Q 耳鳴の原因はわかっているの？

皆さんも時々、急に耳鳴りを感じることもあると思います。大概の耳鳴りは、数分程度でなり止んでいることが多い生理的耳鳴りです。このような場合はあまり心配はいりませんが、翌日になっても改善していない場合や聞こえも悪く感じる、めまいがある場合は注意が必要であり、早めの耳鼻科受診をお勧めします。急に始まって改善しない耳鳴りの中には、突発性難聴、メニエール病、低音部障害型感音難聴、中耳炎などがあります。また、稀にですが聴神経腫瘍などの腫瘍によるものもあります。このように急に始まる耳鳴り以外にも、いつの間にか耳鳴りを感じていて6か月から数年にわたり耳鳴りが続いている方もいらっしゃいます。これは、慢性耳鳴りの状態であり、難聴に伴って始まるものが多く、疾患による難聴により始まるものから、年齢的な影響で始まる難聴などで生じています。耳鳴りの原因ははっきりわかってはいませんが、音を感じ取る内耳の問題と以前は考えられていましたが、聴覚の中核である大脳(側頭葉)が過剰に反応していることで耳鳴りを生じている可能性があるのではないかと現在は推測されています。

### Q 耳鳴りの治療はあるの？

耳鳴りの原因が、突発性難聴、メニエール病、中耳炎などの疾患で始まっている場合は、その疾患に合わせた治療が耳鳴りの治療になります。急性に発生した耳鳴りでは、早期に治療を行い、多くの方は疾患が改善することで耳鳴りも一緒に改善することが期待できます。しかしながら、治療に反応せず聴力が改善しない場合など、後遺症として耳鳴りが残ってしまったりすることがあります。このような方や年齢的に難聴が徐々に進んで始まった慢性耳鳴りは、多くは難治性です。以前は、薬の治療も行うことも多くみられましたが、諸外国では薬の治療はエビデンスがないとのことで推奨していないガイドラインがほとんどです。2019年に日本でも耳鳴りのガイドラインがだされ、難聴者である場合は聞き取りの改善と耳鳴り治療のために補聴器装着が強く推奨されています。また、耳鳴りのことが頭から離れないぐらい耳鳴りで苦しむ方などは、耳鳴り発生と耳鳴り悪化のメカニズムを理解していただき、悪化する際の対処法を医師と患者さんと一緒に考え、患者さん自らが積極的に治療に取り組む認知行動療法が耳鳴りにとられない生活のためには効果があると考えられています。

慢性耳鳴りは、他人に感じられず、それでいて常にまとわりつく忌々しい疾患です。眠れない、つらくて何をやるのも億劫になるなどある場合は、医師と一緒に治療をしていきましょう。



## 耳鼻咽喉科外来

月～金の午前中で、  
特に予約はありません。

(細川の担当日は、月・木・金)